

特集 「私」から始めよう。

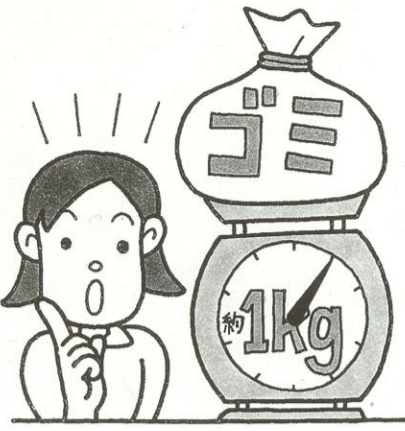
豊かな環境を守るのには、一人ひとりの行動から。明日のために、確かな一歩を踏み出しましょう。

豊かな自然に恵まれた熊本。しかし、環境汚染や自然破壊は、身近な地域でも地球規模でも進んでいます。環境破壊が一人ひとりの行動の結果だとすれば、環境を守ることができるのも私たちの手です。今、私たち一人ひとりに環境に配慮した行動が求められています。

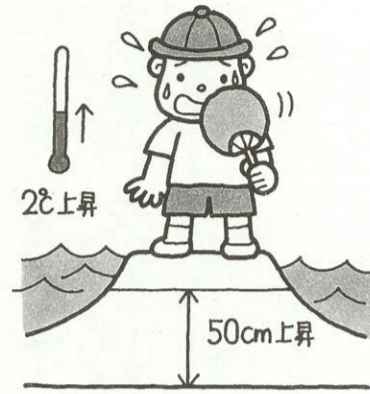
県も、水俣病という世界に類をみない公害の教訓を踏まえ、さまざまな施策を積極的に展開すると同時に、一事業者としても「環境保全のための率先行動計画」を定め行動しています。県民・事業者・行政が協力して、熊本の豊かな環境を守り、はぐくみましょ。

ご存知ですか？ 熊本の環境の今

■年々増えるゴミ
県民一人が一日に出しているゴミ(一般廃棄物)の量は、およそ一キロ(九百一グラム)。七年度。この十年間で約四割増加しています。



■他県より多い水の使用量
県内の水道の水源は約八割が地下水です。一方、県民一人当たりの一日の上水道の使用量は三百八十リットルで、九州平均より三十リットルも多くなっています。



■進む地球温暖化
二酸化炭素などの増加によって、このまま地球温暖化が進むと二十一世紀末には地球の平均気温は現在より摂氏二度、海面は五センチ高くなると予想されています。県内でも水不足や水害が起きやすくなったり、砂浜の約半分が海に沈むなどの影響が心配されます。



「私」から始める 環境に優しい第一歩

- ゴミ減量・リサイクルのために
分別収集・リサイクルに努める。
- 買物袋を持参する。
- エコマーク・グリーンマークなどを目安に、リサイクル製品など環境に配慮した製品を利用する。
- 生ゴミは地面に埋める、コンポストを設置し肥料にする。ゴミの収集日を守る。
- エコマーク
- グリーンマーク



- 水を守るために
●シャワーはこまめに開閉する。
- バケツを使って洗車する。
- 油を流しに捨てない。(○・五リットルの油を浄化するには、風呂おけ千二百五十リットルの水が必要です)
- 地域の清掃活動に協力する。
- 単独処理浄化槽でなく、合併処理浄化槽を設置する。(排水の汚れは八分の一になります)
- 大気環境のために
●環境家計簿をつける。(次ページをご覧ください)
- 冷暖房を冷房二十八度以上、暖房二十度以下にする。
- 公共交通機関を利用する。

- 太陽光などクリーンエネルギーを利用する。
- 車の不必要なアイドリングをやめる。
- 低公害車の購入に努める。
- その他
●物を大切に扱う。
- 植林活動などに参加する。(森林や田畑は水をかん養い、空気を浄化する働きがあります)



県庁も始めています。



風力、太陽光を利用した発電システム 再生資源を分別するリサイクルボックス

県では、「環境保全のための率先行動計画」に基づき、一事業者としての立場で率先して環境保全に取り組んでいます。また、地球温暖化防止に貢献するため、平成10年度の電気・ガス使用量を予測値より6パーセント削減することを目標に、重点行動として、現在次の事項に取り組んでいます。

重点行動

- 冷房28℃、暖房19℃に設定。昼休み一斉消灯、エレベーターの間引き運転の実施など。
- 夏季のノーネクタイなど省エネに適した服装での勤務の実施
- 毎週水曜日に、できる限り自動車通勤を自粛
- 古紙配合率100%のコピー用紙を全面導入

徹底した分別ゴミは一つのブランド「水俣市」



水俣市の体験を踏まえ、「環境モデル都市づくり」を進める水俣市。最近では、水銀国際会議の招致やISO(事業者の環境管理に関する国際規格)認証取得を目指すなど、先進的な取り組みを進めています。中でも全国の注目を集めているのが、二十品目にも及ぶ徹底したゴミの分別収集です。

丸島地区第十組(四十戸)は、平成五年のスタート当初から積極的に取り組んでいる地域のひとつ。大変ではとの問いに、「初めは面食らったけど、今では当たり前になりました。環境庁をはじめ、一部の自治体・団体が環境家計簿を発行しており、コンピューターソフトも市販されていますが、まずは下の様式を利用してはどうかというところから始まりました。水俣市が「人と地球にやさしい都市」として、新たに人々の記憶にとどめられる日が来ることを期待されます。

「なせ漁師が山に木を植えるのか」五年前に植林活動が始まったとき、多くの人から尋ねられました。そのころ海の汚れのために漁獲量が減り、陸に上る人が出ていました。原因をたどると川に川、その源である山の問題に行き着きました。荒廃した山の山を取り戻すには、山の再生が必要だと実感し、植林活動に取り組み始めたわけでした。その後、いくつかの変化が生まれました。一つは、地元の子どもたち。遊びで良いからと川や山に連れていくうちに、自然にゴミを拾い始めたんです。教えなくても、感じとってくれたんですね。もう一つは、美しい川を取り戻すことになりました。

ひとが動けば 環境は変わる



熊本市(天明水の会) 濱辺誠司さん

環境家計簿をつけ始めたのは昨年五月。最初は、電気、水道などを使うことがなぜ地球温暖化につながるのか、ピンときませんでした。調べるうちに、これらを提供するために必要な電力をつくる過程で石油などが燃やされ、温暖化のもとになるCO2が発生するということになりました。

量のあることがわかりました。いろいろな省エネを実践していますが、無理をせず、できることからやるのが継続のコツ。節水に関しては、水道の元栓を調節することが一番有効なようです。

「環境家計簿」で 環境に やさしい生活を



大津町 六嘉順子さん

環境家計簿をつけ始めたのは昨年五月。一回記入すればいい(電気、ガス、水道は月一回でもOK!)、記入時間もそこ何分。家計簿がなかなかつけられなくて困っている人は、こちらから始めてもいいと思います。我が家はここ一年で電気、ガス、水道の使用量が二割減り、エネルギーにも適正な使用



環境家計簿は環境問題が私たち一人ひとりのライフスタイルの問題であることに気づかれています。一人でも多くの方が取り組んでほしいです。

知事室から



熊本県知事 福島謙二

汗ばむ陽気が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。ちなみに、昨年八月の熊本の平均最高気温は三十二・五度、平均湿度は七十五パーセントでした。このような熊本の蒸し暑さは赤道直下のインドネシアのボルネオ島の気候に匹敵するものです。しかし、暑いからとむやみに冷房を強くするのはなく、地球温暖化防止の観点から省エネ・省資源に努めることが大切です。県では、この夏から庁舎の冷房温度を二度上げて二十八度に設定しています。これにあわせて、夏季は原則ノーネクタイ・上着無着用で勤務する「サマー・エコ・スタイル」を実施しています。私は知事就任以来開襟シャツを愛用していますが、能率的で環境にもやさしいこうした取り組みが、県民の皆様のご理解をいただき、県内の職場などにも広がることを願っています。

さて、本県では、昭和六十一年に「熊本県情報公開条例」を制定し、開かれた県政の推進に努めて参りました。しかし、今日、情報公開を巡る社会情勢が大きく変化している中で、県には県政の内容を県民に説明する責任があるとの基本的な認識に立ち、一層の情報公開を推進するための条例改正を行っていました。情報公開は、今後とも進めなければならぬ重要な課題であり、県政に対する理解と信頼をいただけるよう、条例の適正な運用を図るとともに、今後とも社会情勢の変化に即した見直しを不断に行いたいと考えています。

また、昨年来景気が停滞する中で、国において過去最大規模の総合経済対策が決定されました。本県としても、去る四月に公共工事の前倒し発注などを内容とする「経済対策」を決定し、六月には総額四百五十一億円を超える補正予算を組みました。早期の景気回復を図るため、県としてできることは全力で取り組んでいきたいと考えています。

新しい世紀を目前にして、困難な時代を迎えています。汗をかき、きつと将来に明るい展望を抱ける郷土を築いていくことができるものと考えています。

今後とも、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

環境家計簿をつけましょう

私たちの生活がどのくらい環境に影響を与えているのか。どうすれば影響を少なくすることができるのか。それを知るための有効な手がかりとなるのが、環境家計簿です。

環境家計簿では、主に電気・水道・ガス・ガスの使用量、自動車燃料・ゴミの量などを記録します。これらの数値や月ごとの変化を把握し、エネルギーや資源の使用で減らすべき部分や、そのために必要な工夫を考えるために利用します。環境にやさしい生活にすることができると同時に、簡単な実践で下のように実際の家計の節約にもつなげられます。

現在、環境庁をはじめ、一部の自治体・団体が環境家計簿を発行しており、コンピューターソフトも市販されていますが、まずは下の様式を利用してはどうかというところから始まりました。水俣市が「人と地球にやさしい都市」として、新たに人々の記憶にとどめられる日が来ることを期待されます。

熊本県環境保全課地球環境班
☎096-383-1111(内線7338)
(社)環境情報科学センター ☎03-3265-3916

かんたん、環境家計簿

項目	使用量	CO2 排出係数	CO2 排出量	金額 (支出額)
電気 (kWh)	0.12	(kg)	円	
都市(LPG)ガス (m ³)	0.64(1.8)	(kg)	円	
水道 (m ³)	0.16	(kg)	円	
灯油 (ℓ)	0.69	(kg)	円	
ガソリン (ℓ)	0.64	(kg)	円	
アルミ缶 (本)	0.05	(kg)		
スチール缶 (本)	0.01	(kg)		
ペットボトル (本)	0.02	(kg)		
ガラスビン (本)	0.03	(kg)		
紙パック (本)	0.04	(kg)		
食品トレー (枚)	0.002	(kg)		
ごみ (kg)	0.24	(kg)		
合計				

出さなかつたらこんなに節約。

- テレビを1日1時間消すと1年で... CO2 4.8kg 約900円
 - 食器洗いを低い温度(40℃から30℃)にすると1年で... CO2 19.8kg 約3,200円
 - 1日5分、不要なアイドリングをやめると1年で... CO2 16.4kg 約2,800円
 - 1日3分水の出しっぱなしをやめると1年で... CO2 3.2kg 約3,100円
 - CO2 44.2kg 約10,000円
- 1世帯あたりのCO2の平均排出量は約880kgです。昨年の京都で開催された国際会議で日本が2012年までに減らすこととされた6%に相当する量は約53kgです。